

## 1 生徒の実態

### （1）生徒の実態

- 1年生：活発で積極的な生徒が多く授業をリードしている。
- 2年生：やや積極性に欠ける生徒が多いが、真面目に取り組んでいる。
- 3年生：運動が好きな生徒が多く、進んで取り組もうという雰囲気が見られる。

### （2）調査結果の分析

- 1年生：運動能力は平均的である。
- 2年生：おおむね運動能力は平均的だが、持久力がやや劣る生徒が多い。
- 3年生：運動能力は平均的だが、柔軟性に欠ける生徒が多い。

## 2 指導上の課題

- 1年生：授業や体育的行事を通し、運動が好きになり基礎体力を伸ばすようにする。  
そのためには基本的運動技能を習得させるとともに、チームプレーの大切さを学ばせる。
- 2年生：体力・運動能力のさらなる向上を目指し、体育の授業、部活動以外の時間を活用し、自主的、継続的な取り組みが必要であることを理解させる。
- 3年生：夏休みを境に運動量の減る学年である。その事を意識させ、授業以外でも計画的に運動を継続する事の大切さを学ばせると共に、生涯スポーツについて考えさせる。

## 3 授業改善の視点とその方策

- ・ 目標を明確にし、意欲と向上心を持たせる。
- ・ 評価のポイントを单元ごと、授業ごとに提示する。
- ・ 指導の工夫により、記録の向上や技能の習得につなげる。
- ・ 仲間と声を掛け合い切磋琢磨することのより、お互いの成長を実感させ、達成感を味わえる授業を展開する。

## 4 その他

- ・ 体育祭、マラソン大会等の行事に積極的に関わっていけるように、体育の授業で基礎・基本を徹底して指導していく。また、東京オリンピックに向け歴史等の知識を学ばせる。